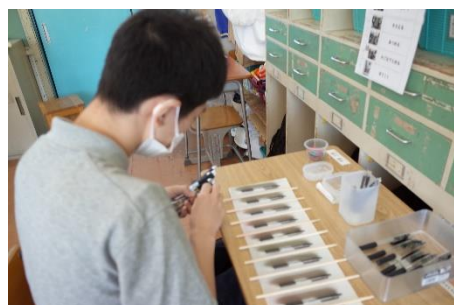


進路だより

神奈川県立鶴見養護学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 4
令和4年 11月 18日発行

高等部 3年生校内実習・現場実習

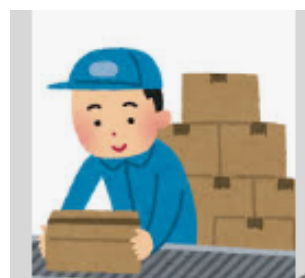
9月26日から10月14日まで現場・校内実習が行われ、この期間に個々の現場実習に取り組み、現場がない期間は校内実習を行いました。校内実習は、前期に引き続き「クラス工場」で自主製作と受注作業を行いました。作業は刺し子の布巾、スウェーデン刺繍のコースター、アイロンビーズのコースター、エコたわし、ボールペン解体・組み立て、消毒用布切り、シュレッダー、封入、仕分け、清掃等です。現場実習では、前期実習の振り返りや進路の教員のアドバイスから「手洗いは丁寧に」「マスクをずっとつける」「職員さんの話をよく聞く」「職場の人と仲良くする」を全員の目標として臨みました。実習後は、一人ひとり心を込めてお礼状を書きました。



分教室 3年現場実習

高等部分教室 3年生は、卒業後の進路に向けた現場実習を9月末より行っています。5日間から10日間、福祉事業所や企業で卒業後の自分をイメージし、自分の課題や働く上で必要なことを考えながら実習しています。3年生の後期現場実習では、できたことはもちろんですが、もらったアドバイスやできなかったこと等、自分の課題を受け入れて改善に向け自発的に取り組めるかが大切になります。

実習を終えて、それぞれの生徒が次なる課題を持って、学校へ戻ってきています。校内では、振り返りや礼状書きを通して、生徒自身が実習での経験を復習しています。課題に向き合い、一つでも多く解決して卒業を迎えられるよう、残りの学校生活で継続して取り組んでほしいと思います。



高等部 2 年校内実習

高 2 校内実習 10 月 3 日(月)～10 月14日(金)

「レベルアップほうれんそう」「仲間と協力する」など、2 年生では前期の評価や目標を踏まえ、実習に取り組みました。工場内では学年の教員の配置を流動的にし、どの先生にも挨拶や報告ができるよう意識してもらいました。また、PTA と共催でタオルのラッピング受注の仕事に取り組み、タオルの袋詰め、チラシ封入、シール貼り等に加え、オリジナルのメッセージカードを添え、注文した教員にお届けに行くといった活動を行った工場もありました。

今回の実習では、前期よりも集中する時間が延び、落ち着いて仕事に取り組む生徒、自分から必要な道具を準備することができた生徒、報告の声量がアップした生徒など、実習後にもそれぞれの生徒がレベルアップした姿が見られ、成長を感じました。



余暇の過ごし方

『休日の長い時間の過ごし方』、『仕事や作業の休憩時間』。さて、みなさんが“余暇”と聞いてイメージするものはどちらでしょうか。卒業後の生活では、どちらも“余暇の時間”となります。そしてこの余暇の時間が現場実習中の課題として挙げられることが近年多くなってきているように感じます。昼食後 30 分程度の休憩時間の過ごし方、小休憩 10 分の過ごし方…一人での過ごし方をみつけていくことが求められてきます。とある生活介護事業所では、プログラムの一環として“30 分間ひとりですぐす”時間を設け、余暇の過ごし方の練習をしているところもあります。他者と関わる／ぼーっと過ごす以外に、暇の余る時間を一人でどのように過ごしていくかも卒業後に向けて考えてほしい視点となります。暇をつぶすことは簡単なようでとても難しいスキルです。本を読むことやゲームをすること、絵や字を描くこと等、一人で過ごせる好きなことや趣味を一つでも多くみつけていけるように、今から少しずつ自身の世界を広げていってけると素敵ですね。

新規事業所の案内について

新設事業所

名 称 : はな工房 (就労継続支援 B 型 事業所)
所 在 : 横浜市中区大和町 1-22-1
作業内容 : 製菓活動、販売活動、手芸作品制作、古本作業 等

名 称 : マルクカレッジ (自立訓練/生活訓練 事業所)
所 在 : 【 横浜西口 】 横浜市西区北幸 2-7-10
【 川崎 】 川崎市川崎区宮前町 8-11

作業内容 : プログラム(ライフスキル・コミュニケーションスキル・ソーシャルスキル・ワークスキル) 等